



# 森林保全と持続可能な紙調達

ポスト2020 持続可能な森林資源の調達  
2018年7月2日（月）  
WWFジャパン 古澤千明





森林保全と持続可能な紙調達

## KEY MESSAGE

---

- 1. 世界の自然林は今も減少、紙生産もその一因
- 2. だからWWFはFSCを推奨します
- 3. ポスト2020、持続可能な調達が「当たり前」をレガシーに





# 世界の森林資源

FAOの Global Forest Resources Assessment 2015

- 世界の森林面積：約 40億ヘクタール（地球の陸地面積の約1/3）
- 世界の自然林減少：650万ヘクタール（東京都の約33倍）
- アマゾン, 東南アジア, アフリカなど熱帯地域で急速な自然林が続く

©NASA

FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations  
(国連食料農業機関) <http://www.fao.org/forest-resources-assessment/en/>

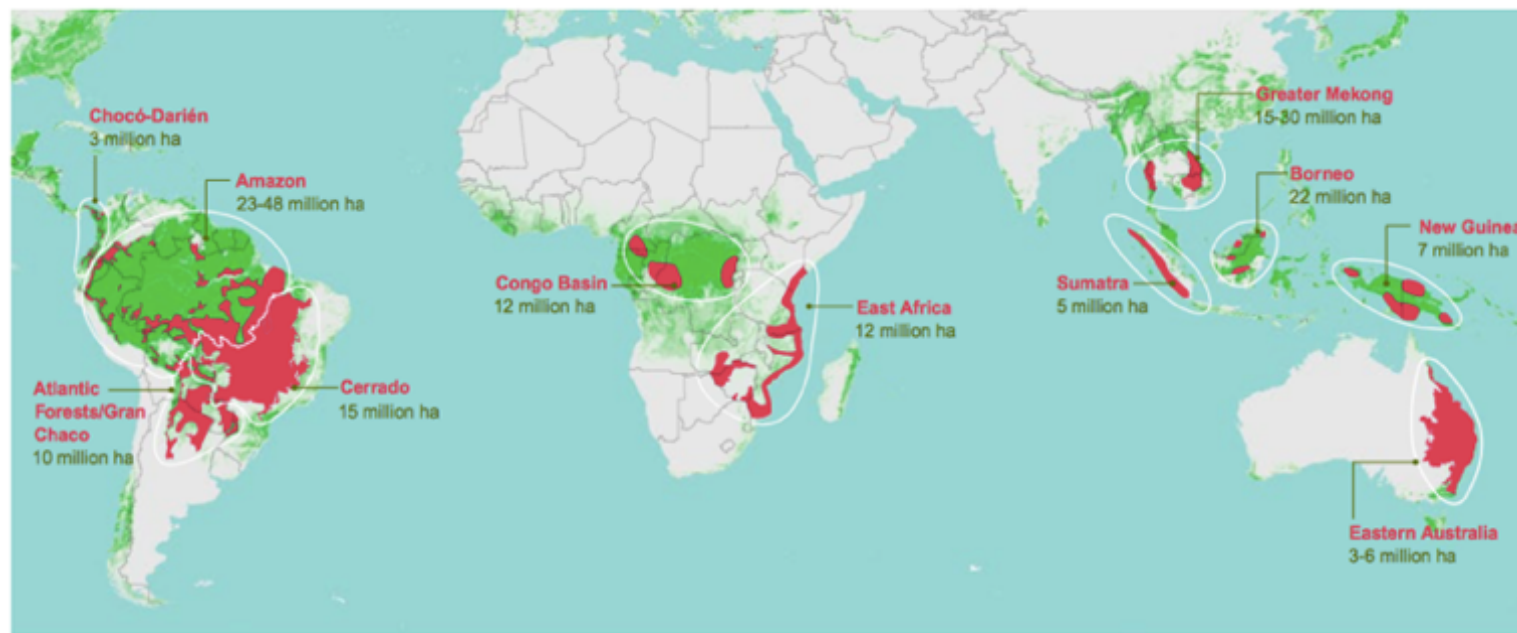


# 森林保全と持続可能な紙調達

## 世界の森林資源「森林破壊の最前線」とは？

WWF発表の報告書「森林破壊の最前線」とは？

2010年-30年までの森林破壊の80%が、世界の11の地域で起こると予測



The 11 deforestation fronts, with projected losses, 2010-2030

森林破壊の多くは地域の利用のためだけではなく、  
“世界の消費”と結びついている



森林減少の要因  
非持続可能な土地利用



インドネシア スマトラ島





もとあった自然林

多種多様な樹種が混在する自然  
の熱帯林は、多くの生き物が生  
息する“生物多様性の宝庫”

インドネシア スマトラ島



製紙原料用植林地

自然林皆伐後につくられる植林地  
（手前）、奥に広がるのが自然林。  
製紙原料用の広葉樹は5～7年で  
収穫される早生樹。こうした植林地は、  
自然の森の環境とは異なる。

自然の森



製紙原料用の植林地  
（アカシア/ユーカリ）



排水用の水路

インドネシア スマトラの製紙用植林地



# 森林保全と持続可能な紙調達

## 事例：問題のある紙パルプ原料調達

■ 30年間で自然林の55%（1400万ha）が消失したインドネシア、スマトラ島  
主な要因として紙パルプ、パーム油などの生産があげられる。

【APP社、APRIL社が指摘されている問題】

- 自然林の大規模な伐採による植林地開発  
→ **生物多様性の損失**
- 地域住民との **社会紛争**
- 泥炭湿地を開発（乾燥）させて植林地を開発  
→ **温室効果ガス大量排出、火災・煙害**
- バランスを欠いた広報  
（グリーンウォッシュ）



（緑）自然林  
（赤・ピンク）植林地

（参照）WWFジャパン 紙パルプ調達 関連問題

<http://www.wwf.or.jp/activities/nature/cat1246/app/>



# WWFがFSCを推奨する理由

## ■ FSCとPEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification)

- ・ どちらも世界的な森林認証制度
- ・ FSC認証林面積 約2億100万ha    CoC件数 約34,400件
- ・ PEFC認証林面積 約3億1300万ha    CoC件数 19,800件

## ■ 特徴：FSCは世界共通の10の原則、70の基準に基づいた国際制度。

PEFCは相互認証システムを採用し、現在41の認証が参加。

### PEFCに参加する認証制度（一部）

日本：SGEC

アメリカ：SFI

インドネシア：IFCC

オーストラリア：AFS

カナダ：CSA

中国：CFCC

チリ：CERFLOR

マレーシア：MTCC



# 森林保全と持続可能な紙利用

## 認証を取得していても持続可能性が疑われるケース

---

- 2015年、主にインドネシアで原料調達を行う製紙メーカーがPEFC/IFCCを取得。2016年の早期には、100%認証を取得することを明言した。
- IFCC (Indonesian Forest Certification Cooperation) は、国際的な森林認証制度PEFC の相互認証を受けた機関/制度。
- インドネシアの製紙用植林地は大部分が、近年になって自然の熱帯林を破壊して開発され、未解決の社会紛争も多数報告されている。
- WWFインドネシアは「これらの認証は（中略）森林や泥炭湿地が生産、保全、管理され、社会紛争が解決されたことの証拠とは言えない」と表明。

(参照) インドネシアの植林地にIFCC/PEFC認証 WWFが懸念を表明  
<https://www.wwf.or.jp/activities/2016/02/1307229.html>

---



# 森林保全と持続可能な紙利用

## FSCの企業単位での操業評価（関係断絶）

---

■ FSCは、2007年と2014年に主にインドネシアで原料調達を行い、多くの問題が指摘されてきた2つの製紙メーカーとの関係断絶を発表。現在もFSCの取得が不可能な状態が続いている。

■ FSCは、森林区画や工場単位での部分的な評価だけではなく、事業者の操業全体を評価する制度がある（“Policy for the Association of Organization with FSC”）。

■ これは、大規模な自然林破壊などFSCのミッションに相反する操業を行う事業者が一部の問題のない森林、もしくは工場でのみFSCを取得することで「環境に配慮している」と見せかけることを防ぎ、FSCの信頼を守るため。

FSCが関係する組織に認めない許容できない活動

- a) 違法伐採、または違法な木材または林産物の取引
  - b) 森林施業における伝統的権利及び人権の侵害
  - c) 森林施業における高い保護価値（HCV）の破壊
  - d) 森林から人工林または森林以外への土地利用への重大な転換
  - e) 森林施業における遺伝子組換え生物の導入
  - f) 国際労働機関（ILO）中核的労働基準 への違反
-





ポスト2020への期待  
「持続可能な調達」をレガシーに



---

ありがとうございました

---

ご質問・ご連絡は下記まで  
WWFジャパン 森林プログラム 古澤千明  
Email: [chiaki@wwf.or.jp](mailto:chiaki@wwf.or.jp)